

ランドハウスあぜがみ

Land Haus Azegami
(長野県野沢温泉村)



本日は斑尾・ダングラムを滑り、野沢温泉の「ランドハウスあぜがみ」へやってきた。野沢温泉と云えば、日本を代表する温泉スキーリゾートである。最新は外国人の観光客が増えていたが、コロナの影響で国内に在住する外国人の観光客以外は基本的にいなくなってしまったようだ。

チェックイン後、すぐに温泉に入る。スキーで疲れた体に温泉はいい。温泉で生き返って、おいしいものをたらふく食べて、ぐっすり寝たら、またスキーだ。

ランドハウスあぜがみの風呂は地下1階にある。脱衣室には脱いだ物を入れる棚が6人分ある。浴室には洗い場が4か所。浴槽の定員は4人ほどだ。たったこれだけの風呂であるが、これがあるのとないのとでは大違いである。浴室にはかすかに硫黄のにおいが立ち込めている。そして、野沢温泉らしく、浴槽の湯はかなり熱い。他の客がいないので、水で薄めながら長湯を楽しむ。湯は無色透明。よく見ると、湯の花が漂っている。尚、浴室には石鹸類は具備されていない。客室に置いてある使い切りのシャンプーとボディーソープを持参して体を洗う。連泊する場合も毎日このシャンプーとボディーソープの他、バスタオルが新しいものに取り換えられる。

入浴後は夕食。ランドハウスあぜがみの食事はボリュームがあるのが特徴。お盆には載りきらないほどの数の料理が提供される。現在はコロナの影響で、食堂に入れる人数が制限されており、6人がけのテーブルに4人で座っているはずなのに、皿の置き場に困るほどの量である。尚、オプションの馬刺しをあ

らかじめ注文しておくのがおすすめだ。1皿1,000円で馬刺しが10切程度なので、かなりお得である。

ちなみに、ランドハウスあぜがみの湯はアルカリ性単純硫黄温泉（低張性アルカリ性高温泉）で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿などに効くという。

明日はいよいよ野沢温泉を滑る。数年に一度という大寒波が襲来中であり、大雪に注意するように天気予報で繰り返し報道されているが、スキーをする者にとっては雪がない方が困る。昨シーズンは雪がほとんどなかったが、今シーズンの雪の量の方がスキーヤーにとっては正常である。

DATA

名称	ランドハウスあぜがみ
所在地	長野県下高井郡野沢温泉村豊郷 9735
電話	0269-85-2716
営業時間	6:30~9:00、15:00~22:00
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料、日帰り入浴不可
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2020年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	野沢温泉スキー場